



わおん

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

多
職
種



No. 9
2023 3発行

第17回 多職種勉強会

3/8（水）に「成年後見制度を知ろう！～わかりやすく教えてもらえる制度の今！～」をテーマに多職種勉強会を開催しました。今回も、オンラインのみの開催で、約 85 組の方々にご参加いただきました。

話題提供では、三重県社会福祉士会権利擁護センターばあとなあみえ 田中宏樹氏にご講義いただきました。成年後見人制度の概要や成年後見人の仕事について、事例では写真を交えわかりやすくお話いただきました。また、事前にいただいた質問に対し、田中さんにお答えいただきました。グループワークでは、各グループに三重県社会福祉士会権利擁護センターばあとなあみえの方に入っていただき、少人数で詳しくお話を聞くことができました。後見人活動と本業との両立、そして大変なご苦勞をしながらも本



人さんの立場に立って支援されている様子がよくわかりました。専門職として自分たちができる事は何かを考える機会になりました。今後も、多職種の方々のお役に立てるよう勉強会内容を考えてまいります。ご参加いただきありがとうございました。

～参加者の方々の感想～

- ・制度について、よく理解できました。グループワークでさらに、詳しく説明していただいたので、知識がほとんどなかったのですが、さらに理解することができました。
- ・成年後見人は、擁護されないといけない人みんなに行き渡ってないし、私達も役割や制度を理解してなかったなと感じた。生活の質や命の質を維持できるようにするには私たち多職種が早くに気づき、対応していく大切さがわかった。
- ・高齢者を抱える家族から相談があれば成年後見制度の窓口へ繋げようと思いました。
- ・後見人さんの大変な仕事内容がとても印象に残りました。多職種で協力出来るところが有ればと思います。

連携拠点に寄せて

松阪地区医師会会長であり、松阪地域在宅医療・介護連携拠点の運営委員会会長に就任された、平岡直人氏より連携拠点に寄せていただいたメッセージをご紹介します。



この度、運営委員会会長に就任しました、平岡内科循環器科院長の平岡直人です。

私も父が開設した診療所で働き始めて20年近くになります。それまでは済生会松阪総合病院内科で主に循環器疾患の診療に携わらせていただきました。救急医療や重症患者の診療、臨床研究、学会活動等に対し、熱意をもって頑張っていたつもりでしたが、開業して患者さんを取り巻くものとの距離が近くなるに従い、更には介護部門の担当となり、それまで見聞きしてきた事が如何に限られたものであったかを知るに至りました。自分が関わってきた医療はその人の一部分であり、地域で暮らす人の健康を支えるためには広い観点が必要で、介護を含めた多職種の方々との相互理解と連携を抜きにしては成り立たないものであることを医師も知り協力する必要があります。これから高齢化に伴う多死社会が到来しますが、治療方針を決定する時に選択する自由が患者さんにあるのと同様に、人生の最終段階における医療・ケアもその人の尊厳が守られたものであることも重要です。

既にこの地域には地域包括ケアシステム構築に向けての準備が早くから始まっていますが、自分自身の経験も生かして、地域の病院と診療所を、入院治療と在宅医療を、そして医療と介護の連携を図り、これらに携わる全ての人と人との繋がりをより強固なものとするを目標に

松阪地域在宅医療・介護連携拠点の更なる発展に、皆さんと力を合わせて頑張っていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



多職種紹介リレー

多職種紹介リレーは、地域の専門職の方々にリレー形式で自己紹介をしていただきます。バトンは、介護老人保健施設 みずほの里 相談員 竹内真由美さんに引き継がれました。

皆様はじめまして。大台厚生病院作業療法士、加太先生からご紹介いただきました。介護老人保健施設みずほの里、支援相談員 竹内真由美です。

私は、急性期病院で看護師として勤めていたときに介護支援専門員の資格を取得しました。子育てと仕事を両立する目的で福祉施設に転職し18年が経ちました。施設看護師や居宅介護支援事業所ケアマネジャーを経験し、現在は支援相談員として入所、通所リハビリテーションの相談窓口の仕事に携わっています。



介護老人保健施設とは、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために医学管理の下、多職種が連携しケアサービスを提供する施設です。みずほの里は託児所もあり若いスタッフが多く働いていて活気のある職場です。ご利用者様に寄り添って、在宅復帰に向けて日々切磋琢磨しています。

さて、私個人のことを紹介させていただきます。趣味や特技はほとんどないのですが、唯一続けられていることが「卓球」です。子供が小学生の時に「PTA卓球クラブ」があり入部しました。当時は夏休みに「連合PTA大会」があり松阪市の小中学校が集まって試合をしました。優勝校にはトロフィーが授与されます。優勝を目指して！と言うより楽しく練習できる雰囲気でした。それから20年間続けています。私の住んでいる射和地区で地域住民の健康増進の目的で「ひよっこクラブ」と称して初心者でも参加できる



クラブの代表をしています。高校生から70歳代の方の登録があり、週1回楽しく練習しています。これからも出会いを大切に笑顔で何事にもチャレンジしていけるよう頑張りたいと思います。



竹内さんからバトンを受け取っていただいた方を次号で紹介します。お楽しみに！

連携拠点からのお知らせ

情報共有システム『すずの輪』

◆「松阪地域の高齢者の住まいに関する情報一覧」について

地域の施設等の方々にご協力いただき、昨年10月に完成をいたしました。すずの輪に掲載しておりますので、ぜひご活用ください。専門職の方々に向けて作成をしたため、利用者、患者、その家族への配布はお控えいただきますようよろしくお願いいたします。

参考

トップページ>コミュニティ>松阪地域在宅医療・介護連携拠点さん
>松阪地域の高齢者の住まいについて



◆4月からお勤めになれる職員さんへ

情報共有システム『すずの輪』を通し、連携拠点からのお知らせや医療や介護の資源に関する情報などについて紹介しています。ぜひ、IDの取得をしていただき、業務にご活用していただければと思います。ID取得の手続きは連携拠点までご連絡ください。

☆11月より職員がかわりました



潮田さんの後任の社会福祉士として着任しました。齋藤 恵子（さいとう あやこ）です。松阪地域の医療・介護の専門職の方々のお役に立てよう、学ぶ気持ちを忘れず業務に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



あとがき

連携拠点は、職員がかわりメンバーが新しくなりました。少しでも、専門職の方々のお役に立てる支援ができるよう、努めたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。次号は夏頃を予定しています。



松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

〒515-0076 松阪市白粉町363番地
(松阪地区医師会館1階)

TEL:0598-25-3070 FAX:0598-25-3071
メール:ks-shien@city.matsusaka.mie.jp

◇月～金 9:30～16:00◇
(祝日・年末年始を除く)